

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年1月6日 (2011.1.6)

【公開番号】特開2008-192132(P2008-192132A)

【公開日】平成20年8月21日 (2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2007-333519(P2007-333519)

【国際特許分類】

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

H 0 1 L 29/49 (2006.01)

H 0 1 L 29/423 (2006.01)

H 0 1 L 21/3205 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

H 0 1 L 27/08 (2006.01)

H 0 1 L 21/8238 (2006.01)

H 0 1 L 27/092 (2006.01)

H 0 1 L 27/04 (2006.01)

H 0 1 L 21/822 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 K 17/00 L

H 0 1 L 29/58 G

H 0 1 L 21/88 B

H 0 1 L 29/78 6 1 3 Z

H 0 1 L 27/08 3 3 1 E

H 0 1 L 27/08 3 2 1 D

H 0 1 L 27/08 3 2 1 F

G 0 6 K 17/00 F

H 0 1 L 27/04 F

G 0 6 K 19/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線信号を送受信するアンテナ回路と、

前記無線信号に応じた入力電圧を生成する電源回路と、

前記入力電圧の信号強度をアナログ値からデジタル値に変換するアナログ / デジタル変換回路と、を有することを特徴とする半導体装置。

【請求項 2】

無線信号を送受信するアンテナ回路と、

前記無線信号に応じた入力電圧を生成する電源回路と、

前記入力電圧の信号強度をアナログ値からデジタル値に変換するアナログ / デジタル変換回路と、を有し、

前記アナログ／デジタル変換回路で変換された前記入力電圧の信号強度に応じたデジタル値のデータ信号は、前記アンテナ回路より外部に送信されることを特徴とする半導体装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、前記アナログ／デジタル変換回路は、フラッシュ方式のアナログ／デジタル変換回路、または逐次比較方式のアナログ／デジタル変換回路、またはマルチスロープ方式のアナログ／デジタル変換回路、または 方式のアナログ／デジタル変換回路、またはリングオシレータ方式のアナログ／デジタル変換回路、であることを特徴とする半導体装置。

【請求項 4】

無線信号を送受信するアンテナ回路と、
前記無線信号に応じた入力電圧を生成する電源回路と、
前記入力電圧の信号強度をアナログ値からデジタル値に変換するアナログ／デジタル変換回路と、を有し、
前記アナログ／デジタル変換回路は、少なくとも 2 種類の方式によるアナログ／デジタル変換回路を有することを特徴とする半導体装置。

【請求項 5】

無線信号を送受信するアンテナ回路と、
前記無線信号に応じた入力電圧を生成する電源回路と、
前記入力電圧の信号強度をアナログ値からデジタル値に変換するアナログ／デジタル変換回路と、を有し、
前記アナログ／デジタル変換回路は、少なくとも 2 種類の方式によるアナログ／デジタル変換回路を有し、
前記アナログ／デジタル変換回路で変換された前記入力電圧の信号強度に応じたデジタル値のデータ信号は、前記アンテナ回路より外部に送信されることを特徴とする半導体装置。

【請求項 6】

請求項 4 または 5 において、少なくとも 2 種類の方式による前記アナログ／デジタル変換回路は、フラッシュ方式のアナログ／デジタル変換回路、逐次比較方式のアナログ／デジタル変換回路、マルチスロープ方式のアナログ／デジタル変換回路、 方式のアナログ／デジタル変換回路、及びリングオシレータ方式のアナログ／デジタル変換回路のいずれかを有することを特徴とする半導体装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項において、前記電源回路及び前記アナログ／デジタル変換回路は、薄膜トランジスタを有することを特徴とする半導体装置。